

## 全体の概要

自立を促進する後付け式電気不要自動ドアです。車椅子で移動され、ドアの開閉に間がかかり、苦心されている方の補助をする装置で、バリアフリーの既存スライドドアに本装置を取付け。車椅子のステップで操作盤を押す又は車輪で操作盤を踏むことによりドアが開扉、放すと徐々に閉扉します。実用性を重視し既存製品に取付けるため、電動自動ドアに比べ設置費、維持費とも経済的です。

### 試作した機器またはシステム1 車椅子用操作盤（ボタン）式電気不要自動ドア

車椅子のステップにドア付近の操作盤を当てながら通過することによりドアが自動開扉、ステップが操作盤から離れるとゆっくり閉扉します（図1）。  
但し、出っ張り過ぎると健常者の障害物になるため模型を用いデザイン性検討。



図1 車椅子用操作盤（ボタン）式



図2 操作盤拡大

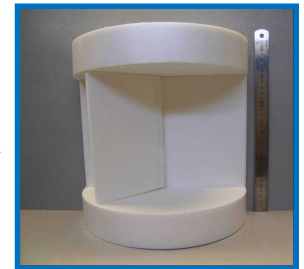


図3 新操作盤拡大

### 試作した機器またはシステム2 フットプレート（小型マット）式電気不要自動ドア

アドバイザーの助言、福祉展示会でのユーザーニーズより車椅子利用者だけでなく杖利用者も使用できるフットプレート式を試作。フットプレートに体重を乗せると開扉、放すと機械式タイマーで暫く開扉状態後閉扉。システムの完成度が上がれば小改良で操作盤としても使用できる様改良予定です（図4、5参照）。



図4 フットプレート式



図5 フットプレート拡大